

その中で基本的な生活習慣の躰や思いやりの心を育てるなどご家庭や地域の教育機能の果たす役割は極めて大きいものと思います。

従って、これからの学校は社会教育や社会体育を通じての地域との連携、PTA活動を通じての家庭との連携を一層強化して、開かれた学校へと脱皮していく必要があると思います。

本校は知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指し、創造・良識・健康・の三つを校訓として、具体的には生徒に『充実した学校生活を確立させる』ために、

- (1) 基本的な生活習慣の育成強化
  - 服装・挨拶・清掃・時間・ルールの順守
- (2) 基礎学力の定着と学力の向上
  - 分かる授業の展開・自学自習の習慣づけ
- (3) 部活動の活発化
  - 必身ともに健康な生徒を育てる

この3点を重点的な指導目標として、豊かな心を育てる教育を基本に、教職員一体となって、特色ある学校づくりに目下努力中であります。どうぞ今後とも本校に対するご理解とご指導のほどお願い申し上げます。

### ◎ 出席報告

会 員 数	7 2 名	出 席 率	函 館 北 1 1 月 9 日	94.29%
出 席	4 0 名		函 館 東 1 1 月 6 日	96.39%
欠 席	3 2 名		函 館 1 1 月 1 日	98.56%
他クラブ出席	2 6 名		函館五稜郭 1 1 月 2 日	100.00%
出席合計	6 6 名		函 館 亀 田 1 1 月 5 日	92.86%
除 外 者	2 名			

次回・11月28日  
**プログラム**

### 夜 間 例 会

於 一 乃 松

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函 館 国 際 ホ テ ル  
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870



# 函館北ロータリークラブ会報

カルロス・カンセコ 国際ロータリー会長テーマ

## Discover a New World of Service

### 見つけよう奉仕の新生面

万里  
長城  
(八達嶺)  
角谷  
隆一  
会員



## 《第1027回例会》 第 21 号 11月28日(水)

本日のプログラム

### 「 夜 間 例 会 」

於 一 乃 松

★会 長 宮崎 英一

★幹 事 中川 洲平

1984~1985 &lt;第 1026 回例会&gt; 第 20 号

## 11月21日の記録

- ◎司 会 椎 谷 龍 彦 副会長 ◎齊 唱 それでこそロータリー  
 ◎ビジター 函 館 R.C. 山内哲夫君他 6名 函館東 R.C. 前多信雄 君  
 ◎ゲ ス ト 田中胃腸科病院 田中 修市 氏

## ◎会長報告 椎谷 龍彦 副委員長

○本日は会長報告はございません。職業奉仕委員会より報告が有ます。

## ◎職業奉仕委員会 斎藤 紀一 委員長

○健康診断御協力有難うございました。残りの検査は11月23日9時より斎藤内科医院にて行います。検査受ける方は事務局迄御連絡下さい。

## ◎高橋 仁志 会員

○母の葬儀には御多忙のところ御焼香いただき、又皆様の御陰でとどこうりなく葬儀が出来ました。厚く御礼申し上げます。

## ◎幹事報告 中川 洲平 幹事

○ロータリーカレンダー多数申し込み下さる様御願い致します。  
 ○次会例会は一乃松です。会費未納の方は早めに御願い致します。

## ◎親睦活動委員会

## ニコニコBOX 投入報告

田中 会員(函館R.C.)……本日卓話致します。よろしく。  
 高橋 会員……母の葬儀に御世話になりました。  
 里城 会員……結婚記念日  
 斎藤 会員……健康診断御苦労さまです。

石上 会員……欠席のお詫び。

橋場 会員……ボックスに御協力致します。

沢村 会員……健康診断30人以上になりました。

## ◎卓 話 "バイオエシックスと医師会病院"

田中胃腸科病院 田中 修市 氏

「健康は人間が自分に贈ることのできる最高のプレゼントです」これはNHK「お元気ですか」の番組で鈴木健二アナウンサーが冒頭で語る名言である。又11月20日付、北海道新聞朝刊の第1頁に「一病息災、も健康、「人生80年」へ意識転換必要と大きな見出しが出ていた。最近の自然食ブーム、健康食品の売上げ高はすさまじいものがある。これは人生にとって健康が如何に重要かと云ったごくありふれた幸せが、同時に如何にそれを維持することがむづかしいかも物語っている。バイオエシックスとは生命倫理と訳されているが、この思想はバイオテクノロジー(生命操作或は生命工学)と常に表裏一体でなければならない。かって原子物理学の進歩が、原爆或は水爆となって人類に悲劇をもたらした事実はわれわれの記憶に新しい。バイオテクノロジーの発展が必ずしも人類に幸せをもたらすものばかりかどうかは疑わしい。ここに倫理の確立がもとめられる。その一つの表現がホスピスである。日本で最初にバイオエシックスの考え方をひろめホスピスの必要性を説いた人は函館に縁のある岡村昭彦氏である。彼はベトナム戦争で報道カメラマンとして戦場に臨み、アメリカの「LIFE」誌にその写真が掲載されたことで有名であるが、彼は私に早くから医師会病院の設立にあたって、バイオエシックスを勉強するように、そして更に1冊の本をすすめてくれた。

これが「ホスピス」末期ガン患者への宣告(A WAY TO DIE)~著者ピクター&ローズマリー・ソルザ著 監訳=岡村昭彦 訳=木村恵子 家の光協会発行 ~であった。これは25才の若さで「黒皮腫」(皮フガンの一種)で死んで行った娘さんの両親としての記録で、末期ガンの宣告とホスピスの問題を一人の患者とその家族、看護婦、医師などの赤裸々な姿を描いている感動的な本である。その本に岡村氏は「生命が操作できる時代を迎え、いままでの死

と生を2分する古い生命観に代り、「死は生命の1部」という考えが生まれました。この本をお読みいただくと判るように生命の質を高め充実した生涯を終るには、『死のケア（看護）』が人類の重要な課題となったのです」と書いておられる。更にアメリカでは「死の教育」が正式なカリキュラムとなって、高校や中学だけでなく小学生用の教科書に「死は何か？」が書かれているともつけ加えている。第1線の医師にとっては宿命的な課題であり、このために力となり得る、即ち「患者の知る権利」「治療法の選択の自由」に対応出来る病院、それが医師会病院の根本的な理念である。現在着工されている病院は、市内富岡町に地下1階、地上5階約10,000平方メートルの規模で病床約200である。完成は来年末で、設備されている機器は、ガン診断に偉力を発揮出来る高額共同利用可能なもので、更に高度の医療情報システムが備へられる予定である。理念としては将来、各医療機関とのネットワークが期待されている。皆様のよき御理解と御助言を期待する次第である。

◎ 出席報告

会 員 数	7 2 名	出 席 率	函 館 北 11月14日	92.86
出 席	4 8 名		函 館 東 11月13日	96.39
欠 席	2 4 名		函 館 11月 8日	96.77
他 ク ラ ブ 出 席	1 7 名		函館五稜郭 11月 9日	100.00
出 席 合 計	6 5 名		函 館 亀 田 11月12日	78.57
除 外 者	2 名			

次回・12月5日  
プログラム

年 次 総 会

例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 例会場：函館国際ホテル  
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870



# 函館北ロータリークラブ会報

カルロス・カンセコ 国際ロータリー会長テーマ

Discover a New World of Service

見つけよう奉仕の新生面

万里長城  
(八達嶺)  
角谷隆一 会員



《第1028回例会》 第22号 12月5日(水)

本日のプログラム

年 次 総 会

★会 長 宮崎 英一

★幹 事 中川 洲平